

金澤北ロータリークラブ



題字・画 大場松魚 筆

ニコニコボックス
諸江吉太郎氏(9月30日ゲスト)
お話をさせていただきましたので。
百万石RC 石丸君、藤間君、宮永君
いつもお世話になります。今後とも、宜しくお願いします。
畠君、辻君
佐々木先生をお迎えして。前回に引き続き、今回も宜しくお願いします。
合計 28,000円(累計 167,000円)

第1772回例会 10月14日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
米山奨学生 アミナ・サラワトさん
 - 出欠
出席 30名 欠席 26名
出席率 54.55% ビジター 5名
 - 来訪者(敬称略)
金沢東RC 竹内 靖
金沢西RC 澤田幸壮 坂本藩應 田中 薫
香林坊RC 木下弘治
 - 幹事報告
・米山奨学生アミナさんに奨学金授与
・例会了後、理事会開催
- ニコニコボックス
畠君、辻君
アミナ・サラワトさんの講話と成長を楽しみにしています。
合計 2,000円(累計 169,000円)

第1773回例会 10月21日(木) 曇り 12:30~13:30 松魚亭

- 講話
金沢市こども会連合会 会長 香村幸作氏
「金沢における旧町名復活」
 - 出欠
出席 28名 欠席 28名
出席率 50.90% ビジター 6名
 - 来訪者(敬称略)
金沢RC 河野良三
金沢東RC 別川 稔
金沢西RC 作田昭七 平塚邦彦
金沢南RC 新保弾次
みなのRC 村山和臣
- ニコニコボックス
畠君、辻君、中田君
香村先生、本日の講話を楽しみにしています。
畠君 明日から、東京小石川RC、相模原南RCを訪問してきます。
小泉君 東京小石川・相模原南RCのご訪問参加ありがとうございます。
水巻君 半年ぶりに出席させていただきます。お見舞いや励ましのお言葉、有難うございました。体調と相談しながら、完全復帰をと考えております。
安宅君 今後とも、よろしくお願い致します。
中川君 水巻さん、おかえり!!!
水巻さん復帰おめでとうございます。私が司会の代打をした分、いつかお手伝いお願いします。
合計 14,000円(累計 183,000円)

金沢市内RC 例会変更のご案内

.....金沢RC.....
12月15日(水) 18:00~ ホテル日航金沢
「クリスマス・パーティー」
1月5日(水) 休 会
1月12日(水) 金沢8RC 新年合同例会へ振替休会
.....金沢東RC.....
11月22日(月) 休 会
12月13日(月) 18:30~ 金沢スカイホテル「年忘れ家族例会」

12月27日(月) 休 会
1月3日(月) 金沢8RC 新年合同例会へ振替
.....金沢西RC.....
11月19日(金)→11月18日(木) 5RC 合同夜間例会
12月17日(金) 18:00~ 金沢都ホテル「家族親睦例会」
12月24日(金) 休 会
1月7日(金) 新年例会(ビジターは受付のみ)
1月14日(金) 金沢8RC 新年合同例会へ振替休会
.....金沢南RC.....
12月21日(火) 18:30~ ホテル日航金沢「年忘れ家族会」
1月4日(火) 休 会
1月11日(火) 金沢8RC 新年合同例会へ振替
.....金沢北RC.....
12月16日(木) 18時30分~ 松魚亭にて「年忘れ会」
1月13日(木) 金沢8RC 新年合同例会へ振替
.....香林坊RC.....
11月1日(月) 地区大会に振替のため休会
22日(月) 休 会
12月21日(月) 18:30~ 金沢エクセルホテル東急「年忘れ会」
1月17日(月) 金沢8RC 新年合同例会へ振替
.....みなのRC.....
11月16日(火)→11月18日(木) 5RC 合同夜間例会
12月21日(火) 年忘れ家族親睦例会 ANAクラウンプラザホテル金沢
1月4日(火) 休 会
1月11日(火) 午後5時~金沢エクセルホテル東急5F
.....百万石RC.....
12月16日(木) 19:00~ ホテル日航金沢「年忘れ家族例会」
1月6日(木) 金沢8RC 新年合同例会へ振替
1月27日(木) 休 会
.....金沢8C 新年合同例会.....
1月11日(火) 午後5時~金沢エクセルホテル東急5F

10月クラブ日誌

7日(木) 創立37周年例会 松魚亭にて
14日(木) 10月定例理事会 松魚亭にて
22日(金) 東京小石川RC 表敬訪問
フォーシーズンズホテル椿山荘にて
24日(日) 相模原南RC 創立40周年記念式典 ラポール千寿閣にて

理 事 会 報 告 平成 22 年 10 月 14 日(木) 出席者 14 名

- ◆審議事項
①東京友好クラブ訪問の件
・両クラブの例会・式典の登録料をクラブ負担とする。
②第27回少年柔道錬成大会の件
11月3日(水・祝)午前8時30分より石川県立武道館にて
③日本伝統工芸展鑑賞の件
11月4日(木)会食後、石川県立美術館へ移動・鑑賞(約一時間)
奥様方にも、是非ご参加いただく(入場券はクラブ負担)
④指名委員会設置の件
畠・木下・玉田・辻・中村(芳)
⑤その他
- ◆各委員会報告
・親睦担当 年忘れ会は内輪で開催する予定
会員作品展は、今年度も継続開催の予定
- ◆その他
・金沢に新しくできた会館などを訪問する企画は如何か(例:金箔会館、偉人館)

講 話 予 定	
11月11日(木)	小熊斗志也氏「めのうを作る」
11月18日(木)	医学博士 岡部三郎氏「落語が教えてくれること」
11月25日(木)	木村芳文氏「白山を撮る」
12月2日(木)	安岡定子氏「東洋思想と経営」

	会 長: 畠 善昭	S A A: 中川 茂樹	例 会 日: 木曜日 12:30~13:30
	会長エレクト: 木下 和吉	会 計: 汐井 俊彦	例 会 場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30
	副 会 長: 玉田 善明	クラブ委員長: 米澤 修一	TEL<076>252-2271 FAX 252-2273
	幹 事: 辻 利陽	会 員 数: 56名	事 務 局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
	副 幹 事: 中村 芳明	クラブ設立: 昭和48年10月3日	TEL<076>222-2525 FAX 224-2882
			E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp



天使とは、神に仕え、神と人間とを仲介し、人間の守護にあたることもある聖靈的存在である。このエンジェル・オルゴールは、東京小石川RC(友好クラブ)のメンバーが館長を務める「小さなオルゴール博物館」のオリジナルです。

東京小石川、相模原南ロータリークラブの記念事業に参加して

会 長 畠 善 昭

日本列島に猛暑と豪雨で大きな爪痕を残し、今となっては、あの厳しい暑さが懐かしく思っていた10月22日、「金沢北ロータリークラブ」の会員16名、ご夫人7名、事務局員と合わせ総勢24名で「東京小石川ロータリークラブ創立40周年記念事業」ならびに翌々日24日、同じく友好クラブの神奈川県「相模原南ロータリークラブ」の創立40周年記念式典に参加させていただきました。

途中、中日（なかび）には東京の歴史や文化に触れる勉強会、さらにはゴルフのレッスンやら「東京小石川ロータリークラブ」とのゴルフ大会も企画され、お天気にも恵まれ、素晴らしい3日間でありました。

何よりの収穫は、会員とご夫人方が寝食をともにし、お互いにロータリーという団体を通じて絆を高められ、友を知り、友に学び、友と語り、共に楽しめられたことが良かったと思えました。以下、東京と神奈川に分けて当日の雰囲気を会員諸兄にご報告し、共有できたらと思います。

●東京小石川ロータリークラブ

10月22日「東京小石川ロータリークラブ」の40周年記念事業が午後4時から、引き続いて「金沢北ロータリークラブ歓迎例会」がフォーシーズンズホテル椿山荘シンゴウルームにて行われました。

例会に先立ち、国際ジャーナリスト櫻井よし子先生による基調講演「日本のあるべき姿」と題しての貴重なお話を拝聴し、政治家は日本をどうするかを国家観を持つべきであり、誇りの持てる国づくりをするために、現状から逃避することなく真真正面から日本の課題に挑戦すべきだと思えました。



講演終了後、記念例会が行われました。例会は、志賀泰昭会長のご挨拶から始まり、私、畠は「良寛」の言葉を引用しての挨拶、引き続いての歓迎懇親会では、生みの親、磯野洋明会員の乾杯のご発声ではじまり、途中、今年5月20日に友好提携した経緯と背景が、安宅雅夫会員より説明があり、懇親を深め和気藹々のうちにお開きになりました。23日は「東京小石川ロータリークラブ」と「金沢北ロータリークラブ」とのゴルフコンペが、名門「龍ヶ崎カントリー倶楽部」で行われ、華を持たせてくれたのか、実力かは別にして、我々が「金沢北ロータリークラブ」が圧勝しました。紅一点でご活躍頂きました、安宅真由美プロご苦勞様でした。次回は中田修子プロも参加して、ダントツの勝利を収めたいものです。

●相模原南ロータリークラブ

一日おいて24日、同じく友好クラブであります「相模原南ロータリークラブ創立40周年記念式典祝賀会」がホテルラポール千寿閣で、午後3時から執り行われました。この式典に合わせて「相模原南ロータリークラブ」と「山形東ロータリークラブ」の友好提携の調印式もありました。私、畠は「中国荘子の言葉」を引用して祝辞を申し上げてきました。

流石に伝統のあるクラブと思われる所も、多々ありました。時間の関係で、失礼ながら途中での退席のお許しを頂きましたが、金沢には夜10時58分に到着いたしました。「相模原南ロータリークラブ」の記事が少ないようですが、他意はありません。紙面の都合であることをお許しください。改めまして、東京小石川ロータリークラブ、相模原南ロータリークラブのご発展とご活躍をご祈念申し上げますと共に、お世話になった感謝を申し上げます。また、金沢北ロータリーの皆様方のご友情にも重ねてお礼申し上げます。

25日早速、両クラブへのお礼の親書をお送りいたしました。拙い文書を最後までお読み頂きまして、有難うございました。



ここに一筋の道がある。社長として企業経営に携わる以上、私が信念を持って歩み続ける道、来し方の成功・失敗は全てが過去の事であり、見なければいけないのはこれからの歩むべき道であります。佐藤一斎の著書「言志四録」の一説に「闇夜に行くに、ただ一灯を頼め」という言葉があります。昨今の混迷する経済社会の中で経営の舵取りは大変であり、トップの多くはその経営判断に迷う事も多々ある筈です。この様な場面で、正しくこの言葉の意味する一灯とは「経営理念」と考え、自身の理念を信じ、それに沿って全てを判断すべきであると解釈出来ます。野球で打者がボールを打つタイミングが一番大切であるが如く、トップの意思決定のタイミングが絶妙で有ってこそ、全ての経営資源が活きるのです。

これ迄は、真面目な経営者であれば、余程バカ、放蕩をしない限りは会社が傾く事は考えられない社会でした。しかし、今日は何かの決定をして動く事、変化をする事が求められ、その方向とタイミングが経営に大きなインパクトを与える時代です。私は、北陸地方のガソリンスタンド・危険物施設建設等を生業として来た、玉田工業株式会社の3代目社長のバトンを、43歳で受け継ぎました。規制緩和の名の元で、取り巻く事業環境がその後次から次と変化して今を迎えた感慨は、アッと言う間の19年だったと思います。

兆しは、危険物地下貯蔵タンクの大型化という変化で、SF2重殻タンクが認可されたことでした。10k1容量から3倍の30k1容量に引上げられ、鉄とFRP(強化プラスチック)で構成する2重殻構造で漏洩検知機能を有するタンクに変わったのです。

地下タンクに付加価値が付く事に私は大きなビジネスチャンス

第1771回例会 創立37周年例会 10月7日(木)晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話
文学博士 佐々木閑君
「インド仏教の発展」
2. 出欠
出席32名 欠席25名
出席率58.18% ビジター6名
3. 来訪者(敬称略)
金沢RC 味岡桂三
みなとRC 南野達也
百万石RC 石丸幹夫 宮永満祐美 藤間勘菊 谷伊津子
4. 幹事報告
・第27回少年柔道錬成大会 11月3日(水・祝)
午前8時30分より 石川県立武道館にて



己の道

玉 田 善 明

を感じ、果敢に全国に打って出る機会は今だと判断し、即行動に出ました。

ロータリー入会3年目の45歳、社長就任2年目に訪れた好機を、ガムシャラに突進しました。具体的には本社工場を増築し、東京に営業所を出し、その後瞬く間に全国に営業所を展開し、工場を2ヶ所新設して参りました。

途中、3期連続の大幅な赤字決算を経て、攻めと守りの大切さ、キャッシュフローの意義等勉強をして参りました。

一貫して来たのは「己の道は信念を持って歩む」「社員を大切にしなければ経営は成り立たない」「自社の存在価値を高める努力を常にしなければならない」との思いでした。

当社のコア技術は、鉄とFRP(強化プラスチック)を複合材料とした地下埋設構造物の製造にあります。

石油貯蔵のSF2重殻タンクでは、お陰様で全国シェアの70%弱を占めるトップメーカーと成りました。

その技術を応用して、耐震性貯水槽、飲料水兼用貯水槽、地下収納庫等の新製品を開発して参りました。海外では、マレーシア・タイ・中国等への技術供与も行い、今後は直に事業展開も視野に入れています。

近頃は特に、多くの人に支えられ支持されて、今の会社が有ると思うことが多く成りました。

これまでの道は、自分一人で歩んで来たつもりでも、社員から後押しされ、お客様から引っ張られ、多くの仲間から見守られて今があるのだと・つくづくお客様の感謝で一杯の道でした。これから続く道は、これまでの御恩に感謝し、自分が可能な限り社会に人にお役に立つ事を実行して行く道なのです。

ルーマニアの作家ゲオルグの小説「25時」の中に「たとえ明日この地球が減じようとも、今日、私は林檎の木を植える」とあります。

私の歩む道にもその傍らには、ゲオルグが表現した明日への希望の木を植えて行こうと思います。

5. 皆出席顕彰(敬称略)
14ヶ年 濱井弘利
6. お誕生日祝い(敬称略)
3日 玉田義明
8日 合田昌英
9日 米澤修一
20日 男網大介
31日 高岡 昇
7. ご結婚記念日祝い(敬称略)
5日 瀧川真人
13日 魚住安彦
16日 山上公介 油井敏男
19日 中村實博
25日 高岡 昇
26日 本岡三千郎
27日 安宅雅夫
31日 長谷川聖人